

シルバー
Silver

しながわ

公園・防災活動広場の清掃活動も センターの会員が担っています



防災活動広場は、品川区の密集住宅市街地整備促進事業等の進展で従前に比べて一段と数が増えております。春にはさくら、夏は青葉など四季折々の草花が見事に咲き誇っているところもあり、区民の皆様の憩いの場にもなっております。

いつでも、気軽に立ち寄れて気持ちよくひと時を過ごせるようにと会員が、落ちた葉や花びらの清掃などに熱心に取り組んでいます。



清掃活動に従事している島川会員さんの感想



●苦勞するところ

「清掃は大変だけど苦勞として感じたことはないです。」

●やっていてよかったこと

「近所の方・利用者の方に感謝され、やっていてよかったなと思います。家族にはもう辞めてと言われますが、元氣なうちはずっと続けたいと思います。」

●区民の皆様へ一言

「気持ちよくご利用いただけるよう一生懸命清掃しております。是非お近くにお越しの際はご利用ください。」

これから暑い日に向かっていきますので、熱中症に注意して取り組んでいただきたいと思います。いつまでも元氣で働けるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

公益社団法人 品川区シルバー人材センター
平成二十七年 定時総会

平成27年6月12日(金)きゅりあん大ホールで平成27年度の定時総会が開催されました

戸川五郎会長あいさつ



戸川五郎会長

定時総会に多数出席ありがとうございました。本日は、区から区長代理として堀越地域振興部長、区議会を代表して浅野区議会副議長をはじめ、来賓の方々に出席頂き厚く御礼申しあげます。

平成26年度は会員数の減、大手スーパの契約減、民間大口契約の解除など大変厳しい一年

でありました。このような状況の中、会員増については様々なメディアを活用した広報活動、区民・企業に向けては積極的な事業PRや創意工夫により受注拡大に努力してまいりました。しかしながら、会員数、契約金額とも2年連続で減という結果になってしまいました。マイナス分を最小限に留めることが出来たのは会員各位のご協力と深く感謝申し上げます。本年度は、民間からの契約増を図られるよう計画的に新規開拓に努めるとともに、財務管理の徹底やコンプライアンスの遵守など厳格な事業運営に取り組んでまいります。

本日の総会は、事業報告と決算、事業計画と予算などが議案になっております。活発な審議をよろしくお願いいたします。

堀越地域振興部長あいさつ



堀越品川区地域振興部長

本日は濱野区長が公務の都合により出席できませんので私から一言ご挨拶申し上げます。

公益社団法人品川区シルバー人材センターとしての5度目の総会開催、おめでとうございます。平成26年度は、大変厳しい年でありながらも受託件数は着実に伸ばされており、この実績は偏に皆様のきめ細かいご尽力の賜物と敬意を表するものであります。

昨年の3月に内閣府から発表された長期の労働力人口予測によると2060年は2013年と比較して42%も労働力人口が減少するとの見込みが発表されています。この労働力人口が減

浅野品川区議会副議長あいさつ



浅野品川区議会副議長

少する中でこそ高齢者の持つ経験、能力がさらに重要になる時代に変わりつつあり、地域での細やかな就労ニーズに応えるシルバー人材センターの果たす役割はますます大きくなっていくだろうと思われま。

区としても、品川区シルバー人材センターがますます地域に喜ばれる存在としてさらに発展されるよう期待するとともに引き続き支援に努めてまいります。

本日は、シルバー人材センター平成27年度定時総会、誠にありがとうございます。私は区議会副議長の浅野ひろゆきでございます

います。本来ならば大沢区議会議長よりご挨拶をする予定でしたが公務のため区議会議長代理として挨拶申し上げます。

さて、調べてみますとシルバー人材センターは38年前に発足していることが分かりました。この長きに渡って皆様方が区民の皆様のために働き、お仕事をされてきたことに心より感謝申し上げます。概ね60歳以上の年代の方が仕事をされているとのことでありますが、皆様は若々しくまだまだ元気だぞと言うのが大いに感じられ、これからでもできるだけ長くお仕事をして頂ければと思うものであります。

また、登録されている方で地域では町会、自治会関係や様々なボランティア活動をされている方も多いと思いますが、区民の方ならずともこのような活動をする事で区政も大きく前進してきていると確信しているところです。

ところで私の両親も以前にシルバー人材センターに仕事ををお願いしたことがあります。その時も非常に丁寧で早く仕事をさせて頂いて大変感謝しておりました。

今後、ますますシルバー人材

センターが発展されるとともに皆様のご健康でまたご健勝でありますようご祈念申し上げます。本日は挨拶にさせていただきます。本日はありがとうございました。



つま先立ち体操
来賓の皆様も参加しました。



出席会員による つま先立ち体操

資格審査報告

山崎本部署務局長より報告

総会出席者479名、委任状

1331名、計1810名の参加で本総会は有効に成立。

加で本総会は有効に成立。

監査報告



石井玲子監事

石井玲子監事より報告

平成26年4月27日、田島監事と共に会計および業務監査を実施。

平成26年度の計算書類、付属明細書及び事業報告は法令、定款に違反することなく、また会計基準等により適正に処理されている。

第1号議案 平成26年度決算

久保田事務局長

平成26年度事業報告と一括して説明



久保田事務局長

平成26年度は、会員数の減、適正指導による契約減などセン

ターにとっては大変厳しい一年であったが、なんとか最小限の契約金額減で留まることができた。

会員数 2575名 39名減
契約件数 17354件

契約金額 12億7900万円
800万円の増

主な事業としては、就業開拓として地区全体会や地区委員長連絡会の開催、ポスター掲示やチラシの全戸配布など、民間からの小さな仕事も受注し仕事の確保に努めた。

平成26年度決算
人件費や管理費の節減に努めた。

経常収益計

13億7998万円

受託収益や補助金等

経常費用計

13億7020万円

事業費や管理費など

当期経常増減額

978万円

この金額から経常外増減額と

法人税58万円を増減して

当期一般正味財産増減額

1016万円

(異議なく決定された)

第2号議案

理事・監事選任

久保田事務局長

再任理事4人、新任理事7人、再任監事、新任監事がそれぞれ1名づつ選任、承認された。

理事

戸川 五郎

和泉 秀雄(新)

本多 美津子

門馬 友子(新)

久保田 孝之(新)

伊藤 一三(新)

佐藤 利行

柳下 恭治(新)

泉 隆一郎

岩澤 政善(新)

堀越 明(新)

監事

田島 昭三

渡辺 優(新)

報告事項 平成27年度事業計画

および収支予算書

久保田事務局長

本年度の課題

①高齢者が現役で働ける地域社会の構築

②新たな中期計画の策定

③地域の一員として地域に貢献できるセンターを目指す。

目標

・会員数2700名

・受託件数1万6500件

・契約金額12億8000万円

事業内容としては、会員増とさ
らなる仕事の確保を目指してメ
ディアを含めた様々なPRを活
用していく。新たな就業開拓と
職群ごとに時宜に応じた研修の
実施、センターの広報としてホ
ームページ、「シルバーしなが
わ」や「事務局だより」を充実
させていく。

平成27年度収支予算

経常収益12億5110万円

受託事業収益・会費・補助金
収入

経常費用12億5386万円

各事業に必要な事業費、管理
費

差し引き276万円のマイナス
になっているが前年までの正味
財産期末残高の黒字を充当して
いくもので健全財政になってい
る。(異議なく承認)

閉会のことば

小野瀬副会長



小野瀬副会長

本日は、雨模様のところ多数
ご出席頂きありがとうございます
でした。私は、理事、副会長と5
期10年務めさせてもらいました
が、これも皆様の温かいご支援
の賜物と感謝しております。有
難うございました。本日は平成
27年度定時総会に1号議案、2
号議案と滞りなく賛成多数で決
定いただき終了することができ
ました。これをもとに理事の皆
様、事務局の皆様の絶大なご努
力で運営されていくことと思
いますので今後ともよろしくお願
いいたします。これで平成27年
度の総会終了いたしました。ご協
力ありがとうございました。

三役が決定

定時総会の終了後、臨時理
事会が開催され三役が決定い
たしました。

会 長 戸川 五郎
副 会 長 本多 美津子
常務理事 久保田 孝之



平成27年度会員表彰

役員表彰

副会長

小野瀬昌男

常務理事

長田 正

理事

浅田 トキ

板垣 幸雄

射水 健一

地区委員長表彰

八潮地区

山田 徳治





会員特別表彰

品川南地区
金田 フデ
田平 豊子

大井地区
鈴木 榮三

戸越地区
古賀 春枝
佐藤 晴美

会員特別表彰

品川北地区
塩野 国子
鈴木 茂夫
杵鞭 十一
佐藤サダ子
栗山 欽伍
川島 敏孝
小林 栄作
谷口 勇幸

会員一般表彰



会員一般表彰

中島 君枝
小田島 綾子
小野寺 友子
金井 國孝
小林 義治
坂井 清
増田 力
上田 要
井上 俊明
高橋 文夫



会員一般表彰

品川南地区
今井 菊江
藤田 秀代
遠山 保久
富田喜代子
広瀬 文子
大崎地区
山中 英夫
朝日 テル
松尾 准光

大井東地区
大山 ミヨ
中村 忠仁
松本 英男
境田 トミ子
堀江 亘
小野 光江

橋本 峰子
近藤 誠
小林ヤス子



会員一般表彰

大坂 勝彦
久留宮 愛子
伊藤 俊雄
表 勝昭
綾部 勝
八潮地区
千葉 陽一
税所 淳子
佐藤 公二

大井地区
松本 貞夫
梅沢 敏子
柳下 恭治
柳下 幸江
浜口 守男
松田 實
濱島 耕三

大井西地区
青木 敬一
林 嘉宏
佐藤 桃子
杉浦 實

荏原地区
荒井 清
奥田マリ子
足助 弘子
戸村 和代
合摩 幸枝
南部美代子
佐藤権次郎
奥田美智子
森山 武子
石原 昭雄
川田 和齊
茂垣 誠
小林 常雄
山崎イワ子
長 幸子
前島 行子
榎岡 侯枝
河野 義男
高瀬 正一



中延地区
渡辺 輝二
保坂 昭美
舛谷幸次郎
中井 洋子
高橋 峯雄
鳥羽田 妙子
井熊 征洋
遠藤 豊

戸越地区
水野 佑子
石田世喜子
篠森 茂
伊藤 公子
広田美千子
山口 勝久
荏籠 英子
橋本 芳子
大山恵美子
池田 利雄
曾我ユキ子
佐藤 時子
中里 克一
田村 陽子

七月は安全就業

強化月間です。

今年度のスローガン その1

『油断せず 安全確認 いま一度』

昨年度の傷害事故は、26件となり、近年、事故件数がなかなか減少しません。怪我をされた会員の中には、打撲や骨折などにより通院・入院を余儀なくされた会員には就業出来なくなった会員も見受けられます。

自己に遭われた会員の多くが『まさか、自分が事故をおこすとは』と語ります。事故は、他人事ではなく、自分の事として捉え事故防止に努める必要があります。

そこで平成27年度の安全就業の取り組みは、事故防止や転倒予防の観点から予防対策に重点をあててまいります。

第一弾
平成27年度は、転倒予防として『つま先立ち体操』を推奨します

つま先立ち体操は、歩行能力の改善に有効で、ふくらはぎの引き締めや脚のむくみ解消にも効果があります。就業前や会議などの前に全員で20回実践しましょう。

● 始める前の姿勢

● 直立して両足を少し開く。無理せずにテールやイスの背もたれを持って立つてもよし。

● 動作

● 息を吐きながらつま先立ち、号令をかけながらゆっくりと元の姿勢に戻す

● ポイント

● 勢いをつけて戻すとアキレス腱を痛める原因になります。動作はゆっくり、ていねいに行いましょう。

● 筋力が弱いと、ひざを曲げた反動でつま先立ちになろうとしがちです。

● こんなときは、かかとを少し上げるだけにしましょう。

● 回数は20回を目標にやってみましょう。



事故防止の心構えとして、今年度のスローガンその2

『落ちるかも!』

転倒するかも!

すべるかも!』を

もう一度思い出して!

『振り込め詐欺』検挙に協力 感謝状贈呈!

南大井地区の岡本修会員は振り込め詐欺の現場に遭遇し、機転を利かした対応で大井警察の犯人検挙に協力し警視庁副総監から感謝状を贈呈されました。

生の現場を再現してみると平成27年3月23日11時半頃、品川区南大井において岡本会員が自宅マンションから外に出てみるとバッグを大事そう

に抱え携帯電話で話している高齢の女性を見かけた。しきりに誰かを探しているそぶりをするので、瞬時に「振り込め詐欺」ではないかと直感し、「こ

ういう時犯人は近くから女性を監視しているはず」と辺りを警戒してみると少し先の自販機の陰に隠れているスーツを着たサラリーマン風の男を発見。直ぐに岡本会員は大井警察と110番両方に通報

犯人に気づかれぬようにと時々大笑いしながら友達と話している風に警察官を現場まで誘導し無事検挙に至った。犯人の手口はワザと、土地勘の無い場所に誘導し被害者

を不安にさせ、現金を受け取るというもの。万が一途中で被害者が、気が付いて追いかけてきても何処にいるのかわからなくする為である。

被害女性は茅ヶ崎から携帯電話で誘導され、一度も来た事も無い南大井に。

「私は引つかからない・大丈夫だと思った。詐欺に遭っているとこの感覚は無かった」と話していた。

何時でも、誰でも被害に遭うかもしれない「振り込め詐欺」会員の皆様も十分に気をつけてください。



鶴田大井警察署長(左)と岡本会員(右)

地区日帰り旅行
花と陶芸・酒蔵見学の旅
大井東地区



益子焼共販センター

5月11日(月)晴天に恵まれ34名を乗せたバスは東北道を一歩、真岡井頭(いかしら)公園バラ

園に。『もう少ししたら満開かな』それでも今咲いているバラは誇らしげに凛と咲いていました。立派なたぬきがにっこりお出迎えの益子焼センターで昼食後、外池(そといけ)酒造で酒蔵見学。昔、蔵の中で時間を計るために歌っていたという酒造りの歌を案内のおじさんがひと節披露すると「うまいねいい声だね」と感激。7、8種類の試飲には、ゆず味やいちご味など、女性も楽しめる日本酒もあり、これと決めた日本酒をたくさんおみやげに買い込み皆さんも、外池酒造さんも大満足。
鳳台院(ほうだいいん)の2万本のしやくなげは見たえあり。ほろ

酔いの会員さんが激写ポイントを探して広い庭をあちこち撮り歩き。食後の良い運動に。帰りはビンゴ大会・相撲観戦で盛り上がりバスも爽快に走って予定時刻より1時間30分も早く無事大井町に到着。楽しい1日でした。

みどりと花のフェスタイベント



4月18・19日に戸越公園で開催され、4名の会員が参加。

包丁研ぎのコーナーでは、1日目32本、2日目は38本のご依頼を頂きました。昼頃に小雨が降り出しましたが、イベント参加も7年目になり地域の方々からも「毎回楽しみにで研いでもらっています」との事。PR用品にはウエットティッシュを入れたものを配付しました。

丁度、食事時だったせいか、用意した500個もすぐに捌けてしまいました。

従事いただいた会員さんお疲れ様でした。



会員さん趣味のコーナー

品川南地区の高玉会員さん、90歳の母親を連れて近場の公園等にかかれ、写真を撮るのが趣味とのことです。

たまたま事務所にお見えになった時に写真を見せてもらい投稿してみてもうですかとおすすめしました。

今回の写真は、テレビで見初めて訪れた亀戸天神の藤棚です。帰りには、船橋屋のくず餅をおいしくいただき大満足で帰宅しました。カメラは普通のデジカメで撮影したとのことです。



亀戸天神の藤棚



会員の皆様も投稿してみたい写真等やこんな趣味等ございましたら事務局までご連絡ください。

CATVにて
コマーシャル放映

昨年実施した会員募集のコマーシャル放映を今年度も実施します。ケーブルテレビ品川にて平成27年6月より来年の3月まで放映の予定です。

短い時間のコマーシャルではありますが、いろいろな現場で働いている会員が、仕事に対する自分の想いを語っている素晴らしい1分間に仕上がっています。是非ご覧ください。また、このコマーシャルはシルバー人材センターのホームページからご覧いただけます。

チャンネル ケーブルテレビ品川
内容 会員募集コマーシャル
期間 平成27年6月～平成28年3月
放映時間 5回/1日 ①7:42頃 ②10:42頃
③13:42頃 ④19:42頃 ⑤22:42頃



ご加入・お問い合わせは
品川区シルバー人材センター ☎03-3450-0711





平成27年度第1回共助会評議員会
が開催 6月16日(火)

平成26年度の事業報告・決算報
告(下表) 承認

毎年恒例の1泊旅行
『パワースポット横谷温泉黄金の
湯と紅葉の河口湖もみじ回廊旅』
・バス3台で131名が参加
・補助額 6,911円。

(参加者1名当たり)
その他、総会記念品・慶弔費・各
地区のバス旅行と全体会・各クラ
ブへの補助も承認された。

平成27年度の事業計画と予算案
承認

メインイベントの1泊旅行
11月15日(日)～16日(月)に西日本
方面が候補

バス3台35名で行なう予定。
その他各補助については昨年同
様。

共助会主催の事業や補助事業で
は、仲間づくりや豊かなシルバー
ライフの一助になるような催しを
企画しています。ご参加をお待ち
しております。



◀河口湖もみじ回廊



◀諏訪大社上社本宮



平成26年度共助会決算報告

| 収入の部 | |
|--------|-----------|
| 科目 | 決算額 |
| 会費 | 3,250,000 |
| 補助金 | 1,000,000 |
| 寄付金他 | 15,248 |
| 収入合計 | 4,265,248 |
| 支出の部 | |
| 科目 | 決算額 |
| 管理費 | 126,000 |
| 事業費 | 4,158,498 |
| 支出合計 | 4,284,498 |
| 当期収支差額 | △ 19,250 |
| 前期繰越金 | 1,789,379 |
| 次期繰越金 | 1,770,129 |

就業相談

就業相談
仕事のことや職場の悩みなど、
理事が相談をお受けします。

7月9日(木) 午後1時～午後4時

本 部・荏原支部

8月13日(木) 午後1時～午後4時

本 部・荏原支部

9月10日(木) 午後1時～午後4時

本 部・荏原支部

会員総数

平成26年5月末日現在

2,526名



男

1,465名



女

1,061名

あとがき



わが国の少子高齢化問題について、少子化の方は育児対策や雇用対策などで幾分か改善しつつあるが、高齢化の方は百歳以上の長寿者が六万人に達する一方で、五人に一人が認知症という問題がクローズアップされている。長生きしても健康で社会に役立つなら喜ばしいが、病気になるれば核家族のため老々介護などで疲れ果てる現実は悲しい。特養施設の増加や在宅支援などの対策は不十分であり、社会保障政策が政治に要望する第一位の座は変わっていない。六月に開催された今年の定時総会で今後の活動方針が示されたが、シルバー人材センターの理念の一つである共助の精神でこのような社会情勢に対応し、地域社会に貢献していくことが重要であり、また求められているのではないだろうか。

(編集委員 佐藤利行)